

折に触れ 四字熟語

NO. 187 『雲行雨施』 うんこう うし

< 意味 > 雲が空に流れ動いて雨が降り、万物をうるおして恩恵を施すこと。また、天子の恩恵が広く行き渡るたとえ。天下が太平であることのたとえ。「雲行き雨施くもゆ ほどこす」と訓読する。

< 出典 > 『易経』乾

一言：鬱陶しい日が続くのに梅雨入りが宣言されなかった関東地方ですが、やっと梅雨入りになったようです。

参照文献：岩波書店「四字熟語辞典」